

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：長岡京市

重点目標	住みつけたい みどりと歴史のまち 長岡京		
	事業群	構成事業名	
	みどり豊かなまちづくり事業	都市公園等維持管理事業	
		みどりのサポーター制度促進事業	
		身近なみどりの創出事業	
		中学校施設維持管理事業	
		小学校施設維持管理事業	
事業群全体による 成果の概要	<p>長岡公園及び勝竜寺城公園ともに数多くの樹木が生育している。これらの樹木を専門業者に委託して詳細な手入れを施し維持管理することにより、市の景観を保つことができた。「みどりのサポーター制度」を促進することにより、緑化・美化意識を高揚してもらうとともに郷土への愛着を深めてもらうことができた。身近な公園や市街地の公共空き地に木を植栽することで、市民にとって憩いの場を提供するとともに、ゆとりややすらぎを感じてもらうことができた。小・中学校敷地に生育する樹木を伐採・剪定し整備することで、緑の環境を維持するだけでなく、生徒の中に生きた環境教育を提供できた。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

2 個別事業評価調書

団体名：長岡京市

事業名		都市公園等維持管理事業				
事業の概要	長岡公園は、市のほぼ中心部に位置し多目的グラウンド、テニスコート等があり、広く市民に親しまれている。公園内には、四季折々散策が楽しめる緑があり、特に梅林は約20種類、300本以上もの木が生育している。また、勝竜寺城公園内には、市の保存樹木であるムクをはじめ桜の木などが生育している。これらの樹木を維持管理することが市の景観を保つことにつながる。					
	事業期間	平成22年4月1日～平成23年3月4日				
	総事業費	2,834千円	本年度事業費	2,834千円	交付金交付額	1,408千円
事業評価	事業の必要性	長岡公園、勝竜寺城公園ともに数多くの樹木が生育している。これらの樹木の維持管理には、専門業者による詳細な手入れが必要である。				
	事業の有効性	二つの公園は、市民の憩いの場であるだけでなく、観光客も数多く訪れる場所である。そのため、日常からの維持管理が欠かせない。				
	事業の効率性	樹木を良好な状態に保つことで景観を損なうことなく、より多くの市民や観光客が訪れる都市公園になる。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
5 行財政改革に資する成果						
6 その他の成果 長岡公園の梅林は、毎年3月の中頃に見ごろを迎え、多くの人が花見に訪れている。勝竜寺城公園内の桜も花見の季節には、芝生のうえで弁当を食べる家族連れで賑わっている。						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：長岡京市

事業名		みどりのサポーター制度促進事業			
事業の概要	<p>快適なまちづくりをすすめるためには、生活に身近な公園や道路をいつも安全できれいにしておく必要がある。これまでの、市、自治会、(財)長岡京市緑の協会による活動だけでは、きめ細かなところまでは行き届かず限界がある。そこで市民一人ひとりが自分にできる範囲で行動し、花を植えたりゴミを拾ったりすることで社会に貢献する「みどりのサポーター制度」を設け、(財)長岡京市緑の協会に委託し市民の自主的な活動を支援する。</p>				
	事業期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日			
	総事業費	2,874千円	本年度事業費	2,874千円	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	平成21年に“環境の都”長岡京市環境都市宣言を行った本市にとって、行政・企業・市民が一体となって公園や学校、市街地等、身近な環境の中にある緑を手入れし、増やしていくことは不可欠である。みどりのサポーターを支援することは、単に施設の緑環境を改善するだけでなく、市民の中に緑化意識・美化意識を育む必要な事業である。			
	事業の有効性	みどりのサポーターとして公園や緑地、道路の清掃を自分たちで行うことを通じて自分の住むまちを考えるきっかけづくりになり、行政は、サポーターが安全に活動できるよう側面から支援を行うことで市民協働のまちづくりにつながる。			
	事業の効率性	植栽を行うことで市街地の緑被面積を増やし、緑豊かでうろおいのある空間を創出することができる。また、市街地のゴミをなくすことでゴミを捨てにくい環境ができる。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果 自分たちの身近な公園を整備することで、郷土への愛着をより深めてもらうことができた。			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果 本市の玄関口、JR・阪急両駅周辺が、みどりのサポーター等の自主的な清掃活動を展開され、おおむねきれいな状態が保たれている。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：長岡京市

事業名		身近なみどりの創出事業			
事業の概要	市民にとって身近な公園や市街地の公共空き地に木を植栽することで、緑豊かな環境づくりを図り、もって市街地の緑被面積を増やし、潤いのある空間を創出する。				
	事業期間	平成22年11月3日～平成23年3月18日			
	総事業費	5,190千円	本年度事業費	5,190千円	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	長岡京市緑の基本計画にある「市民が誇れる風格とゆとりあるみどり」の基本方針をうけて、公園や河川、道路、小学校等の公共空き地などで積極的に緑化を推進する。			
	事業の有効性	緑化重点地区を指定し、公共施設等の緑化を推進することで、新しいまちの顔にふさわしい緑を創出する。			
	事業の効率性	まちの身近な空間に緑を増やすことによって、市民にとって憩いの場を提供するとともに、ゆとりや安らぎを感じてもらえることができる。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
		4 広域的波及成果			
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果 既存の公園や広場の有効活用が図られ、多様な市民ニーズに即した緑地の確保につながった。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：長岡京市

事業名		中学校施設維持管理事業					
事業の概要	市内の中学校の敷地内で生育している樹木の中で、伐採若しくは剪定の必要な樹木に対して専門業者に処理を依頼する。						
	事業期間	平成22年10月29日～平成23年2月17日					
	総事業費	1,418千円	本年度事業費	1,418千円	交付金交付額	705千円	
事業評価	事業の必要性	学校の敷地に生育する樹木を伐採・剪定し整備することで、緑の環境を維持するだけでなく、生徒の中に生きた環境教育を提供する。					
	事業の有効性	専門業者による専門的知識を生かした樹木の整備を行うことで、樹木の良い状態を保つことができる。					
	事業の効率性	専門業者に委託することにより、職員の負担が軽減される。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 日常的に生徒が通う中学校の緑環境を改善することで、教育環境を向上させ、緑が持つ安らぎや潤いを感じることができた。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：長岡京市

事業名		小学校施設維持管理事業					
事業の概要	市内の小学校の敷地内で生育している樹木の中で、専門業者に処理を依頼したほうが望ましい樹木に対して伐採若しくは剪定等の必要な処理を依頼する。また、低木・中木は、伐採・剪定を市職員が行い、当事業で購入する粉砕機により樹木のチップ化を行う。これにより緑の循環にも貢献する。						
	事業期間	平成22年4月16日～平成23年3月2日					
	総事業費	3,825千円	本年度事業費	3,825千円	交付金交付額	1,907千円	
事業評価	事業の必要性	学校の敷地に生育する樹木を伐採・剪定し整備することで、緑の環境を維持するだけでなく、児童の中に生きた環境教育を提供する。					
	事業の有効性	高木等の専門業者による専門的知識を生かしたほうがよい樹木と低木等の職員でも可能な樹木を並行して整備することで、樹木の良好な状態を保つことができる。					
	事業の効率性	低木・中木の伐採・剪定後の処分方法が、これまでの廃棄から粉砕機を使用した樹木のチップ化を行うことでゴミの減量化にもつながる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 日常的に児童が通う小学校の緑環境を改善することで、教育環境を向上させ、緑が持つ安らぎや潤いを感じることができた。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。